



ふじみ自然塾 だより

2016.12.22

第 13-5 号

発行；富士見市民大学
ふじみ自然塾
編集；同 企画運営スタッフ
発行日；不定期

1. 第11回講座 大根ほか収穫

11月26日13:10～15:10に渋谷農園(三芳)で、農業実習を行った。24日は11月として54年ぶりの降雪とか、日陰には雪が残っていた。

先ず、人参・チンゲン菜・白菜・ブロッコリなど生育状況の解説を聞きながら見学。

大根も生育状況を見学後、いよいよ収穫。各自、持帰り用に1本ずつ収穫。何れも、形の良い大根が収穫できた。

また、チンゲン菜と白菜の雑種(?)
・チンゲン菜・ちりめん白菜なども収穫させていただいた。

毎年収穫させていただく人参は、生育が遅れている由、雪



写真①；収穫した大根を手に

写真②；日陰の残雪

の下で痛々しく感じられた。

この日は、日陰は震える寒さだったが、陽向は暖かく、収穫とあって、笑い声が絶えなかった。

2. 第12回講座(合同講座) 大豆の脱穀

12月10日13:30～15:10に、渋谷農園(南畑)のハウス内で大豆の脱穀、と実習農場で大根・長ネギの収穫を行った。

大豆の脱穀はハウス内で、1～3週間前に収穫し乾した大豆を棒で叩き豆を取り出す。ホコリがもうもう、皆マスクを着け作業した。

脱穀した大豆は、野外のビワの木の下に設置したトーミ(送風式の除塵機)でゴミを除いた。

この日は、黒豆・早生大豆・晩生大豆の脱穀を行ったが、黒豆は特に美味しいためか?虫食われが



写真③；大豆の脱穀

写真④；大豆の脱穀

多いようだった。

3. 第13回講座(合同講座) 大豆の選別

12月17日13:30～15:00に鶴瀬公民館調理室で、大豆の選別を行った。

作業は、大豆を板の上を転がしながら、丁寧に選別した。今年大豆は、虫食いが多いように感じられた。

さらに選別した大豆(早生種・晩生種と黒豆)の中から、2017年用の種豆を選別した。

今年の7月は雨また雨の雨続きで、実習農場は水溜りができて大豆の畝立ても延び延びに。種まきも3週間遅れ、このためか?極端な収量不足。2009年に大豆栽培を開始して以来初めて、豆腐作り用の大豆が足りず、他所で調達しないといけなくなった。



写真⑤；大豆選別作業